

日本山岳写真協会ニュース

日本山岳写真協会(Japan Alpine Photographers Association)

7月号

2020年7月15日発行
(第474号)

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号
TEL/FAX(03)5357-7387 日本山岳写真協会

メールアドレス japa@lime.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.japa.server-shared.com/>



「雨上がりの御在所岳」

増田 信子会員 撮影

会員の皆様へ協会事務所電話等の問い合わせについて

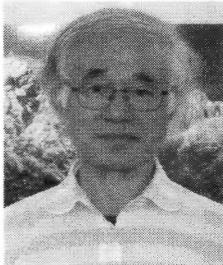
協会事務所は係が常駐していませんので、問合せ、連絡等は担当理事宛にて電話ないしメールで、直接連絡をお願いします。

- | | | | |
|-------|-----------------------|--------------|--|
| (総務) | 岩本 直樹 (入退会、休会、名義申請等) | 046-256-1422 | i.naoki@wonder.ocn.ne.jp |
| (会計) | 瀬戸口隆司 (年会費、会費振込等) | 03-3929-4459 | bachseto@yahoo.co.jp |
| (写真展) | 清水 隆雄 (協会展、公募、選抜展等) | 042-563-5778 | tshimizu39@comet.ocn.ne.jp |
| (会報) | 飯田 信義 (原稿掲載依頼、DM 掲載等) | 048-931-0526 | iida_nobu_1413_photo@ybb.ne.jp |
| (企画) | 渡辺 良 (月例会等) | 047-479-0511 | watanabe_makoto817@yahoo.co.jp |
| (HP) | 鈴木 菊雄 (協会 HP 掲載依頼等) | 047-184-0702 | suzu99@d9.dion.ne.jp |

7月の月例会は中止といたします。

『登山と写真との関わり』

北陸支部 岡部 縁^{ゆかり}



私は学生時代からカメラに興味があり、長く旭光学のものを使用していた。(SV→SP→K2, MX)

SVは露出計がついていなかったが、白黒フィルムで絞りとシャッター速度の関係について失敗を繰り返しながらも、天候から判断して露出時間を決定することに一定の自信を持つことが出来た。

カラーフィルム(特にポジフィルム)に関しては露出が難しかったが、就職後に購入したSPで勉強し、ある程度満足出来る写真が撮れるようになった。更に、中判カメラにも興味があったが維持やレベルの高さから断念し、作品作りはMX及びK2で行った。

登山に関しては学生時代からそれなりに興味があり、友人と登山を楽しんだが写真を撮ることは余りなかった。登山を繰り返している中でだいに山の素晴らしさが気になり、記録に残したく撮影が主目的になり、重量的には負担になったが、ボディ2~3台(MX、K2) 交換レンズ数本、三脚を携行した登山になった。

時が経過して定年を迎えるに際し、山岳写真をじっくり撮りたいと考え、住み込みで働くべく山小屋に問い合わせを行ったが、高齢ゆえに断られた。(特殊な資格や電気関係のものを有していれば可という例はあった。)

諦めかけた時、ハローワークで立山室堂にある「ホテル立山」のスタッフ募集を知った。面接を受け幸いにも有期限(7か月)の準社

員として採用して頂いた。結果として更新しながら4年間働くことが出来た。ホテルでの仕事は主にボイラー設備の維持管理、安全管理(除雪・台風対策等)であった。

山岳地域であるので住み込み寮が用意されており、一室4~6名の相部屋であったが、私自身気にならなかった。勤務形態は一日8時間、5勤1休、月1回連休、3交代制(早番→休日→遅番2日→普番2日)であるが、朝方及び午後に撮影時間に余裕があるのは良かった。

ホテルは立山室堂に位置しているのので、登山や気象変化、紅葉変化の撮影に有効であった。アルペンルートは4月中旬に開通し、普段の雪はそれなりに美しいが、4月以降でも時々降雪があり黄砂による汚れ、人間の足跡、スキーやスノボの滑り跡が全て消失した時の素晴らしい景色に立ち会える事は最高だった。

又、紅葉と初雪が同時に見られる事もあり、シャッターを押す時指先が震えた。

私は「彩雲」に興味があり、支障がない限り部屋のスタッフを起さない様に注意して早朝に出掛け撮影を行った。頻度は少ないが素晴らしい彩雲が現れた時の感動は大きかったが、見た通りに撮る事は難しかった。

ホテルでの仕事が終了して3年後、知人の勧めもあり、彩雲を中心にした写真集を自费出版することが出来た。

結論として4年間の住込み勤務は大変有意義であった。可能であれば無給でも良いから、もう一度体験したいと思っています。

8月号の予告

表紙 松本支部
巻頭言 東海支部

6月定例理事会報告

日 時 令和2年6月18日(木)
午後1時～3時
場 所 日本山岳写真協会事務所
出席者 飯田・岩本・大石・清水
鈴木(菊)・渡辺
(司会)大石 (記録)岩本
6名

****議題****

1 会員の入退会等について

入会 No.1156 増村 多賀司
(7月より入会 会費納付済)
百瀬支部長/上條事務局長推薦
退会 No.1128 坂本 登(松本市在住)
文書通知

2 各委員会報告

- 総務(岩本副理事長) 特に報告事項なし
- 会計(大石理事長報告)
年度会費未納者が11名あり督促をしている。
2020年の公募展中止のため、応募料と応募作品を応募者に5月末に返却した(町田理事)
- 会報(飯田副理事長)
6月会報は8頁、11日入稿したので25日頃発送予定。
2021年の一般公募のチラシができたので掲載する。
- I/T(鈴木理事)
 - *ホームページの更新を6月初旬作業した。新PCには主要ソフトのインストールが完了し通常通り使用できる。電源を入れてしばらくすると、パスワード入力枠が出るので4桁の番号を入力すると起動する。
 - *ウインドウズ10に対応したフォトショップエレメント2020型(約2万円)理事会で承認後購入したい。(現在は臨時で個人の古いソフトで使用)
 - *既存のPCのドキュメントデータは項目ごとにDVDに保存した、担当者は見直して新PCに入力してほしい。また既存のPCのHDDを抜き取り後その他部品は処分したい。
 - *協会宛ての着信メールは週当番が閲覧している。その多くは不要でそれ以外は会員からが多い。会報でも通知して各担当に直接連絡をお願いしている。現在臨時に鈴木理事宅で着信が読めるが、今後週当番以外にも常時在宅でも確認できるように提案したい。
- 企画(渡辺理事)
5月・7月の月例会は感染症の関係で中止した。会場予約でキャンセル料が発生した。
- 写真展(清水副理事長)
2020年の協会展が中止することが決まり応募作品を5月に返送した。
東京都美術館には今年の協会展を新型コロナの影響で展示を中止する理由書を書面で連

絡し了解を得た。

赤坂御所に2020年開催の日本山岳写真協会展が感染症対策で中止したことを報告した。

3 協会展、公募展について(清水副理事長)

- *協会展の案内はがきに掲載した後援、協賛・協力の企業、団体等に2020年協会展の中止を通知した。
- *東京都美術館へ2022年度からの5年間使用申し込みの資料を準備している。
7月頃二次審査を受ける。その後、開催期間、会場等の希望などを検討して申し込みを行う。
- *今年的一般公募展は新型コロナ感染症対策で中止したが、2021年は通常通り開催予定、一般公募の作品募集のチラシは例年より感染症の影響で事業活動が少なく大幅に少ない3000部を準備した。
主要なギャラリー、山小屋、観光センター、各支部など70か所に発送した。会報にも同封し、JAPAホームページにも掲載する。
- *JAPA2021年カレンダー作品審査はフォト信州の佐々木氏が案を作成して、審査委員会が承認した。印刷部数はJAPA展の中止に伴い、販売部数の減少で1500部と昨年より少なくする。
- 4 選抜展(大石理事長報告)
今年の選抜展は中止し、展示パネルはクリエイイトから返却したが、準備したので年内開催できるかギャラリーと交渉してみる。
2021年度選抜展は来年下期開催とし、新たに11月に会報で作品募集する。
- 5 合同撮影会(渡辺理事)
2020年の合同撮影会は東海支部主幹で紅葉の乗鞍岳で9月26日(土)～27日(日)開催予定。宿泊は銀嶺荘を貸し切りの予定。
6月18日現在21名(東海支部以外)が参加予定。再度6月会報に募集案内を掲載する。募集は50名までを予定している。7月末に最終判断する。
- 6 月例会について(渡辺理事)
11月26日(木)に「ハロー貸会議室飯田橋駅前」で開催予定。会員講師を予定している。(テーマは未定)会報やHPで事前予告する。
- 7 その他
 - 後援依頼 第3回友山クラブ写真展「光の世界・風物詩」
会期 10月2日(金)～8日(木)
会場 富士フォトギャラリー銀座
 - 内田耕作写真展(創立会員)「山の造形」
会期 11月3日(火)～11月29日(日)
会場 JCIII フォトサロン(東京都千代田区一番町25 日本カメラ博物館)
 - 次回定例理事会 7月16日(木)
午後1時～3時 協会事務所にて

2020協会展応募について

写真展委員 清水 隆雄

2020 日本山岳写真協会展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。協会最大のイベントである協会展が中止となったのは、戦時中は別として初めてのことです。会員の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

4月4～5日の選考会もコロナウイルス感染拡大防止で5月9～10日に延期しましたが、一向に収まる気配もなく、タイムリミットの5月末までの選考会も結局のところ開催できずにきてしまいました。その後の協会展準備作業のスケジュールと、事務所での感染防止対策等を勘案して協議の上、中止を決定した次第です。

2020 協会展の応募状況について報告します。一般公募は112名、応募点数は448点で、内デジタル作品が約96%を占めています。会員は282名、応募点数は1006点で、内デジタル作品は約70%の割合でした。一般公募の応募者数は昨年より若干減りましたが、応募点数は昨年より上回っています。会員の応募者と応募数は過去最高となり、それだけに今回の協会展中止は残念でなりません。

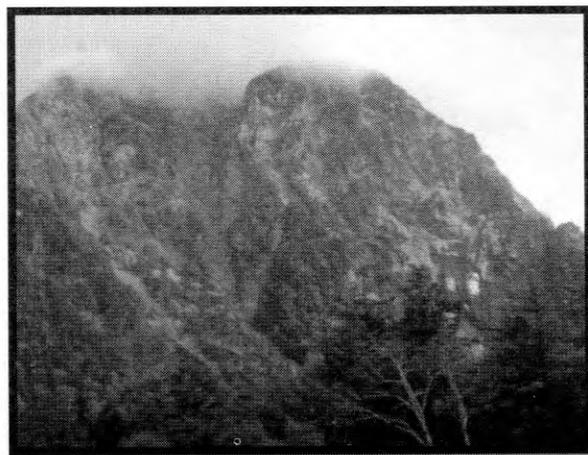
次に応募作品の出し方にいくつか問題点がありましたので記します。応募一覧表①のみ記載、応募票貼付なし、CD添付なし、フィルム作品の過剰包装等がありました。これらは応募作品整理の際に、作業担当者に多大な負担を掛けますので、「応募要項、応募注意事項」を熟読の上、応募をお願いします。

年会費未納者については、協会展の応募資格がありませんので注意して下さい。尚、質問、問合せ等は、協会ニュースに記載してあります「担当理事」までお願いします。

この写真に心当たりがある方は、ご一報ください

今回、応募された作品から、応募者不明の作品が1枚ありました。応募票の貼付がなく、全応募作品の応募一覧表と、応募作品を何度か突き合わせて確認作業をしましたが、不足は見つかりませんでした。

開封作業のミスで不明作品を出してしまい、申し訳ありません。心当たりの方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記まで連絡をお願いします。



フィルムサイズ 4×5 (コダック)

連絡先 清水隆雄 TEL 042-563-5778
E-mail tshimizu39@comet.ocn.ne.jp

第79回 デジタル研究会・テレワーク開催のお知らせ

上ヶ平 裕彦

8月より、デジタル研究会がテレワーク形式での集会を始めます。

●テレワークについて

新型コロナ禍で会場集会型のイベント開催が難しい現状ですが、パソコンやスマートフォンなどの活用で、通信型の集会が身近になってきました。テレビ番組制作や学校教育でも活用されている「テレワーク」です。

テレワークは、ITを活用したテレビ電話のような仕組みで実現されています。会話や顔の表情、身振り手振りが伝わるのはもちろんのこと、写真や文書も即時に伝えることができます。1対1だけでなく、何人もが一緒に参加できるので、勉強会にも親睦会にも使えます。場所の制約もありません。世界中どこからでも、街中でも山岳地でも、インターネットにつながれば参加できます。全国組織である日本山岳写真協会にとって、離れた会員同士の交流が図れるテレワークの仕組みは、とても魅力的です。パソコンやスマートフォン、タブレットの使いこなしが少々ハードルにはなりますが、この機会に、取り組みを始めてみませんか？

●参加の方法

スマートフォンやタブレットは、カメラ、マイク、スピーカーが付いていますので、そのまま簡単に始められます。でも、携帯回線で接続するとパケット通信料が高額になったり利用限界に達してしまいやすいので、WiFi（無線LAN）での接続をおすすめします。スマートフォンなどを横置きで立てられるスタンドがあると、手で持ち続ける必要がなくて便利です。簡単なスタンドは100円ショップでも販売されています。イヤホンマイクがあると、話しやすく聞きやすくなりますので、これもぜひご用意ください。

パソコンは、ウェブカメラと呼ぶ機器を必要とします。カメラ付きのノートパソコンであればそのまま使えますが、カメラが付いていないパソコンの場合は、別途、ウェブカメラを購入していただく必要があります。1万円以下で購入できると思います。キヤノン、ニコン、富士フイルムなどの写真撮影用カメラも、機種によっては対応ソフトの導入によりウェブカメラとして使えるものがあります。パソコンの場合も、イヤホンマイクがあると、話しやすく聞きやすくなりますので、ぜひご用意ください。

参加方法の詳細は、日本山岳写真協会ホームページの会員専用ページに掲載しています。会員専用ページは、2020年度の会員証裏面に記載されたIDとパスワードを入力し閲覧してください。

<https://www.japa.server-shared.com/member/>

第79回デジタル研究会（テレワーク開催）

- ・日 時 2020年8月22日（土） 14：00～16：00（通信接続は13時から可能です）
- ・開催方式 Zoom（ズーム）ウェブミーティング
ウェブカメラ付のパソコンまたはスマートフォンでご参加ください
- ・テーマ ①最近の活動情報交換
②作品研究

写真展案内

曾布川善一 写真展 富士山～物語との出会い～



- ・期日＝2020年8月7日(金)～13日(木) 10時30分～19時(最終日は14:00)
- ・会場＝富士フォトギャラリー銀座
中央区銀座1丁目2-4 サクセス銀座ファーストビル4F

写真展案内

フォトグループいぶき 四季のいぶき写真展

日時 2020年8月14日(金)～20日(木)
10時～19時(最終日16時迄)
会場 富士フィルムフォトサロン／東京
東京都港区赤坂9-7-3
フジフィルムスクエア内
Tel 03 (6271) 3351

◎下記のJAPA会員が出品
加藤 誠、柴田 邦彦(順不同)

滝野 正平	小村 亨	島野 敏夫	西 幹雄	本田 利幸
藤野 弘志	斎藤 松一郎	白石 市三	根岸 貴	藤坂 武光
井上三喜男	森藤 義昭	鈴木 宏	初谷 祐子	松下 龍子
上野 久	佐伯 享子	竹内 宏	羽根 和良	矢島 幸雄
大木 島 毅	佐々木 秀久	田上 正實	早坂 圭二	吉井 道郎
加藤 誠	佐藤 和郎	戸強 興	平子 正	基辺 洋治
河村 伴江	柴田 邦彦	霜田 則義	本田 君子	

大・中判 銀塩写真で描く日本の風景。フィルム表現の
透明感のある豊かな色彩をお楽しみ下さい。

PHOTO GROUP いぶき FAIR
後援 公益社団法人日本写真協会

表紙の言葉

「雨上がりの御在所岳」

関西支部 増田 信子

御在所岳の頂上は朝からの雨は上がり始め、ガスの間から大黒岩が目に入りました。大きさに圧倒！雨に濡れた岩は美しいものでした。

日本山岳写真協会 事務所

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号
第一原嶋ビル502号

TEL/FAX.(03)5357-7387

事務所には常駐していません

会報担当：飯田信義・上ヶ平裕彦